

分類 番号	A17	取組 名称	宮津市新浜地区における芸能文化と歴史的建築・街区の形成に関する研究及びその成果公開
研究代表者：	生命環境科学研究科	職・氏名：	講師・松田 法子
研究担当者：	京都府立大学（松田法子・青地伯水） 外部分担者・協力者（河森一浩氏、大上雅穂氏、林立騎氏、古木洋平氏）		
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）	京都府宮津市、宮津商工会議所		
【研究活動の要約】			
<p>今から100年と少し前、ベルンハルト・ケラーマンというドイツ人作家と、カール・ヴァルザーというスイス人画家が宮津に滞在していました。2人は宮津の「茶屋町」に深い印象をもち、『Sassa yo Yassa. Japanische Tänze』（さっさよやっさ、日本の踊り／1911年）という本としてベルリンで出版します。2016年度、宮津ではこの本の新訳刊行が目指されていました。本研究は、この刊行にあわせて依頼を受けたもので、かつての茶屋町やそこに生きた人びと、芸能文化、また2人の外国人作家と宮津や日本との関係などについて宮津や各地で調査を進めました。また、現地調査やインタビューの内容を、30分のドキュメンタリー映像作品『Sassa yo Yassa を探して』として製作し、ケラーマンたちがみた100年前と現在の宮津を人々の証言や暮らしの取材から架橋する試みを行いました。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>本調査研究の成果は、まず京都府立大学の「桜楓講座」にて、「名所の遊所 天橋立と宮津新浜」として中間報告を行い、約100の市民・府民の皆さまにご聴講頂きました（2016年11月）。さらに2017年2月には、宮津市みやづ歴史の館にてシンポジウム「宮津新浜の芸能文化と社会・人・まち」を開催しました。このシンポジウムは、第1部 新浜の成り立ちと変遷、第2部 ヨーロッパ人芸術家たちがみた宮津、第3部 『Sassa yo Yassa』－宮津の茶屋町をめぐる100年、という3部構成で実施し、各研究担当者が1年間の調査にもとづいて次のような報告を行いました。松田法子「宮津の『茶屋町』－東新地、万年新地、新浜」、井津元奏葉香「近代～戦後における新浜の空間復元－土地と街区の分析から」、林立騎「ケラーマンと宮津」、管啓次郎「ヴァルザー兄弟のまなざし」。シンポジウムには120名あまりの来場者があり、新聞でも報道がなされました。また、現地調査の記録にもとづいて製作した30分の映像作品もこの場で初めて上映し、続編の製作に関する要望など多くの反響を得ました。</p>			
【研究成果の還元】			
H28/11/19 府大桜楓講座講演「名所の遊所 天橋立と宮津新浜」※受講者当96名出席／府大稲盛記念館 H29/ 2/19 ACTRシンポジウム「宮津新浜の芸能文化と社会・人・まち」※市民等120名出席／みやづ歴史の館文化ホール （報告書、論文等のタイトル、希望者への配付/閲覧の有無 等を御記入ください） 「宮津市新浜地区における芸能文化と歴史的建築・街区の形成に関する研究及びその成果公開 報告書」 （府大図書館で閲覧可）			
【お問い合わせ先】			
生命環境科学研究科 松田研究室 講師・松田法子 Tel:075-703-5319 E-mail: kirpinfo@kpu.ac.jp（京都地域未来創造センター）			

「宮津新浜の芸能文化と社会・人・まち」

京都府立大学地域貢献型特別研究 [ACTR] 2016 年度成果報告会

日時：2017 年 2 月 19 日 (日) 13:30-16:30

会場：京都府宮津市 みやづ歴史の館 文化ホール

S a s s a y o Y a s s a



井津元 奏葉香
都市史/京都府立大学
松田研究室4回生



林立騎
ドイツ演劇論
東京芸術大学 特任講師



管 啓次郎
比較文学論・翻訳
明治大学 教授



古木 洋平
映像
COGI FILM



松田 法子
都市史
京都府立大学 専任講師

開催主旨

今から 100 年と少し前、ヘルンハルト・ケラーマンというドイツ人作家と、カール・ヴァルザーというスイス人画家が宮津に滞在していました。ふたりは特に宮津の「茶屋町」に深い印象をもち、茶屋町に生きる人々の様子や豊かな芸能文化についての記事と絵を『Sassa yo Yassa. Japanische Tänze』(さっさよやっさ、日本の踊り/1911年)という美しい本に仕立て、ベルリンで出版します。

現代の宮津にはないそれらの茶屋町や茶屋とは、一体どんな所だったのでしょうか。また、茶屋町に生きた人びとや芸能文化は、その後どうなったのでしょうか。

失われた茶屋町の姿や芸能の痕跡を追って、私たちは宮津での現地調査やインタビューを重ねてきました。同時に、ケラーマンとヴァルザーについても調べを進めてきました。約 1 世紀前のヨーロッパに紹介された宮津、『Sassa yo Yassa』の世界をひもとくための 1 年目の調査成果を報告します。

また私たちは、『Sassa yo Yassa』と現代の宮津をつなぐドキュメンタリー映像も制作しました。その映像を、今回はじめて一般上映します。

プログラム

主旨説明

第一部 新浜の成り立ちと変遷

松田 法子「宮津の『茶屋町』—東新地、万年新地、新浜」
井津元 奏葉香「近代～戦後における新浜の空間復元
—土地と街区の分析から」

第二部 ヨーロッパ人芸術家たちがみた宮津

林立騎「ケラーマンと宮津」
管 啓次郎「ヴァルザー兄弟のまなざし」

第三部 『Sassa yo Yassa』

—宮津の茶屋町をめぐる 100 年

記録映像「『Sassa yo Yassa』を探して」
(撮影・監督：古木 洋平) 上映会

意見交換

閉会挨拶 宮津商工会議所会頭

後援：宮津商工会議所・宮津市教育委員会

